



築地中学校学校だより
つ い じ
築 地

胎内市立築地中学校
令和3年9月24日
NO. 6
文責：校長 伊東 寿明
学校だより作成委員会

感動をありがとう「体育祭とあいさつ運動を終えて」

校長 伊東 寿明

9月11日（土）の体育祭には、たくさんの保護者、地域の皆様からお越しいただき、たいへんありがとうございました。テントの片付け等もお手伝いいただき、スムーズに進めることができました。

私にとっては、築地中学校初めての体育祭でした。そのせいかもしれませんが、私はこの体育祭でたくさんの感動がありました。その中で特に大きな2つのことについて紹介します。

一つ目は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染症対策や種目等の変更を余儀なくされました。種目では、生徒同士が密になる方が有利と思われる大玉送りを玉入れに替えました。大縄跳びでは、跳ぶ人は外側を向いて、数を数えるのは縄をもっている人だけにすることにしました。応援では、応援席やリレーなどの順番を待っているときは、声を出して応援しないこと、応援合戦では、隣の人と密にならないようにすることにしました。体育祭を盛り上げることは真逆な指示をせざるをえませんでした。もしかしたらのことを考えると背に腹は代えられないという判断でした。

その指示をしっかりと守って体育祭を行ってくれました。築中ギネスの大縄跳びでは、全員で大きな声を出して数えた方がタイミングも合うし、気持ちも高まるはずですが、昨年までとは明らかに不利な状況でしたが、過去の記録を大きく上回る結果でした。応援でも声が出せない分、音の出るものを使って応援に工夫を凝らしていました。それぞれの競技でも、間隔をとることを意識して取り組んでいました。フィナーレでは、生徒全員が願いを書いた風船を飛ばすバルーンリリースを計画し、感染症等で少し暗くなっている気持ちを明るくしてくれました。

私は、生徒には、「新しいことにチャレンジしてほしい」「みんなで協力して取り組んでほしい」と言っています。正にその通り、不利な状況を跳ね返し、体育祭で実現してくれたのでした。

二つ目は、生徒たちの責任感ある行動です。体育祭は、子どもたちにとってとても忙しい行事です。競技に参加したり、係の仕事をしたり、応援をしたりです。多分、応援席でゆっくり他の学年の競技を見るようなことはできませんでした。そのような中で、全員がしっかりと自分の役割を果たす姿が見られました。教職員も安心して生徒たちに仕事を任せていました。そのお陰で体育祭全般をスムーズに進めることができました。感染症対策も併せて、途中で指示したり注意したりすることが全くなく、生徒たちの責任感とひたむきさを感じることができました。このことは、小さいことかもしれませんが、私にとっては、とても驚き、感動した場面でした。

9月15日（水）～17日（金）の3日間にあいさつ運動を行いました。感染症の特別警報の発令期間にかかっていたので、当初中学校に小学生が来校して行う予定でしたが、小・中学校それぞれで行いました。当日玄関に並んだ生徒約30名（全校生徒75名中）という状況から、たくさんの子どもたちが積極的に関わってくれたことがわかります。当日は、たくさんの生徒から「おはようございます」の声を掛けられ、戸惑う生徒もいましたが、3日目には大きな声で挨拶を返す姿がたくさん見られました。あいさつ運動が終わってからも、明らかに、挨拶が明るく、大きな声になったと感ずることが出来ます。今まで、どの学校でもあいさつ運動はしていましたが、これほど変化がはっきりしたことはありませんでした。意識の高まりと素直に取り組もうとする態度に感動です。

翔(か)ける

9月11日(土)に体育祭が行われました。さわやかな天候のもと、多くの保護者や地域の皆様からご来校いただき、熱い声援をいただきました。誠にありがとうございました。

生徒たちは、体育祭実行委員会を中心として夏休みから準備をすすめて参りました。勝ち負けよりも互いの努力を認め合い、正々堂々と競い合う姿が印象的でした。競技やパネル、応援に熱心に取り組む生徒の姿は、さすがらしさを感じさせました。

築地中学校後援会様からは今年も、2学年種目に使用した五色のロープや生徒の熱中症対策用の白い帽子、用具類等を購入させていただきました。いつも築地中学校の教育活動を支えてくださる保護者や地域の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

また、PTA種目の玉入れや、テントの撤去等でも、PTAや地域の皆様のご支援をいただきました。重ねて感謝申し上げます。

☆☆ 競技の結果 ☆☆

【競技の部】優勝 赤軍 【応援の部】優勝 赤軍 【パネルの部】優勝 赤軍

【築中ギネス『みんなでジャンプ』】

<連続回数>	1位	3年青軍	70回【新記録】		
	2位	3年赤軍	67回【新記録】	3位	2年青軍 27回

<合計回数>	1位	3年赤軍	234回【新記録】		
	2位	3年青軍	204回【新記録】	3位	2年青軍 163回

選手宣誓



青軍の応援



赤軍の応援



奪い合いタイヤ



PTA種目：玉入れ



生徒会フィナーレ：風船飛ばし



○体育祭副実行委員長 「最後の体育祭」

私にとって今回の体育祭は中学校最後の体育祭だったので、思い入れの強い体育祭でした。感染症の影響で行動が制限される中、全校生徒が思い出に残る体育祭にするにはどうしたらよいか、実行委員長と共に考えてきました。

そして体育祭当日を迎え、無事に終了することができました。体育祭の成功は、他の実行委員はもちろんですが、私たちの指示をよく聞き、てきぱきと行動してくれた生徒のみなさんのおかげだと思います。ありがとうございました。そして、おつかれさまでした。

○青軍 副団長 「一生の思い出」

今年の青軍の応援は、ダンスやウエーブ、ペットボトルの使用など、いろいろな工夫を凝らしました。ですから、本番まですべての内容をみんなに教え、完成させることができるのか不安でした。しかし、青軍のみんなが指示をよく聞き素早く行動し、昼休みや家で練習してくれたりして、最高の応援をすることができました。青軍の皆さんには感謝の言葉しかありません。

今年もコロナ対策で制限がある中での体育祭でしたが、全校生徒が協力し合い、楽しむことができました。一生の思い出になる体育祭になりました。ありがとうございました。

○赤軍 副団長 「支え合いながら」

私は副団長として、全体をリードすることができて、とてもよかったです。夏休み中は予定があり、あまり準備活動に参加できませんでした。ですが、団長や団員が準備を進めてくれたおかげで、全体練習の前には全体の動きやフォーメーション（隊列）などの動きを理解することができました。応援練習の時には、スムーズに進行することができ、「支えられながら、支えることができた」と実感しました。

私は、このような「支え合いながらつくる体育祭」を、築中の伝統として受け継いでいってほしいと思います。

○青軍 パネル長 「願いを込めたパネル」

今年は昨年に引き続き、新型コロナウイルスが流行し、自分たちが楽しみにしていた行事やイベントが中止や縮小になり、制限されました。ですから、今年のパネルは、願い事が叶うと言い伝えられているペガサスにしました。そしてそのペガサスの周りに羽を散りばめ、その羽に「早く新型コロナウイルスが収束しますように」や「みんなが笑って過ごせますように」などの願いを書きました。しかし、「散っている羽に願いを書いたら、願いも散ってしまうのではないか」という声もありました。そこで私たちは、あえて、「願い事が書かれた羽が、どこまでも風に乗ってたくさんの人の元に届きますように」という思いを込めたのです。残念ながら、パネル賞をとることはできませんでしたが、たくさんの思い出ができた、最高の体育祭になりました。

○赤軍 パネル長 「一生の思い出」

私はこれまでに二度、パネル系の経験があったので、これまでのアイデアを参考にしつつ、今までにない新しいパネルにしたいと思いました。原画のデザインは主に3年生のパネル係全員で考え、応援団員にも話を聞きました。パネル係一人一人が、体育祭への熱い思いを込めながら丁寧に仕上げました。実は私は、パネル長としてパネルを製作することが1年生からの夢でした。

今回パネル部門で優勝することができたのは、パネル係全員の努力の結果だと思います。青軍のパネルも、細かいところまで工夫されたとても素敵な作品です。両方のパネルは生徒玄関に約1年間掲示されます。是非近くで見てください。

栄 光 の 記 録

○東北七県 珠算競技大会

- ・ 第三部 フラッシュ暗算競技 優勝
- ・ 第三部 読上暗算競技 2位
- ・ 第三部 読上算競技 2位

※第三部は中学生の部

学校生活のスナップ



胎内市交通安全協会様から
看板をいただきました



小中連携あいさつ運動



保健給食委員会による
「給食感謝デー」での発表の様子

お知らせ

10月23日（土）に合唱祭を予定しておりますが、例年実施しております、保護者・地域の皆様・教職員による「ひばり合唱団」による合唱は、感染症拡大防止のため、今年度は中止とさせていただきます。また、合唱祭の参観は保護者（お家の方）のみとし、地域の皆様からの参観はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。